

# 第8期 オンライン開催 FBAAファミリービジネスアドバイザー 資格認定プログラム

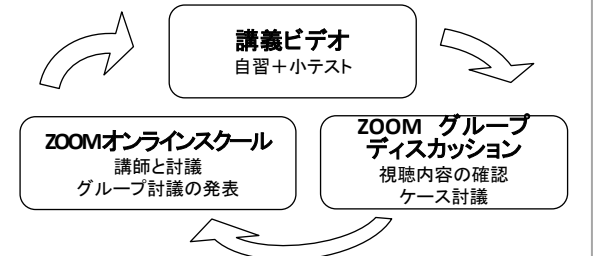


- ファミリービジネスにアドバイスする専門家のための、日本で唯一のプログラム
- 修了者はAFBA (Authorized Family Business Advisor)の認定証を取得
- 全過程をオンラインで受講、講師・TA・メンターによる行き届いた学習支援

## ■ 受講資格

- ・ FBAA会員であること
  - ・ 3年以上のファミリービジネスとのかかわりの経験があること
  - ・ 大学卒業、またはそれに準じる学歴を持つこと
  - ・ 所定の応募書類を提出しFBAA理事会の承認を得ること
  - ・ 受講料を納入すること
- 上記すべての条件を満たすこと ※ご不明の点は事務局にご相談ください

## ■ 3段階の学習プロセス



## ■ プログラムの目標

- ・ 受講者のバックグラウンドの分野からファミリービジネス・システム全体に対するコンサルティングへと視野を広げる
- ・ ファミリーの本質、構造、力学を理解し、ビジネスにどのように影響するかを理解する
- ・ 一般的なファミリービジネスのジレンマを理解、診断する方法を学ぶ
- ・ 一般的なファミリービジネスにおける課題を解決する方法と技術を学ぶ
- ・ ファミリービジネスシステム全体を評価、診断し、処方を出すことができる
- ・ ファミリービジネスコンサルタントが持つべき倫理を理解する
- ・ プログラム修了後も継続的に学習する

## ■ 認定までのステップ

1. 申込受付、受講資格審査
2. セルフチェックと学習目標の設定
3. 講義ビデオ視聴
4. グループディスカッション (約2時間5回、ZOOM)
5. オンラインスクール (約4時間8回、ZOOM)
6. ケースペーパー、自己評価レポート提出
7. 資格認定審査 (上記の出席、提出が前提)
8. 資格認定証授与式

## ■ 受講に必要な環境 (ZOOM利用)

1. PC、インターネット
2. WEBカメラ、マイク、スピーカーなどのオンライン会議用機器

## ■ AFBA資格認定証について

AFBA (Authorized Family Business Advisor)の資格認定は、FBAAとして認定証保持者の実務の内容と品質を保証するものではなく、あくまでも資格認定プログラムを修了したことを証明するものです。資格認定者は、FBAAの会員である限りにおいて、自己の名刺、プロフィール、経歴にAFBAロゴマークを使用し、「FBAAフェロー」、「FBAAファミリービジネスアドバイザー資格認定証保持者」または、「FBAAファミリービジネスアドバイザー資格認定プログラム修了」と表記することができます。

## ■ 第8期 日程・受講料 (日程変更になる場合があります)

- ・ 第1次お申込締切: 2020年8月10日 (定員になり次第締め切ります)
- ・ オンラインスクール日程: 2020年 いずれも9時~13時  
 9/5(土), 9/26(土), 10/24(土), 10/25(日),  
 11/7(土), 11/28(土), 11/29(日), 12/12(土)
- ・ グループディスカッション: 5回、いずれも20時~22時  
 日程はホームページをご確認ください
- ・ 認定証授与式: 2021年4月24日(土) 東京を予定
- ・ 受講料: 36万円(消費税別)

## ■ お申込方法

FBAAホームページよりお申し込みください

<http://www.fbba.jp>

お問合せ:

TEL: 070-6563-3081 (事務局長 武井)

一般社団法人

日本ファミリービジネスアドバイザー協会 (FBAA)

〒107-0062 東京都中央区銀座6-6-1

TEL: 070-6563-3081 (事務局長)

FAX: 03-6369-4370

メール: [sec@fbba.jp](mailto:sec@fbba.jp)

ホームページ: [www.fbba.jp](http://www.fbba.jp)

# カリキュラム（全課程をオンラインで実施）

## ■ 概要

ファミリービジネスは、創業家（ファミリー）と事業体（ビジネス）が重なり合い、複雑なシステム（ファミリービジネスシステム）を形成しています。ファミリーのニーズとビジネスのニーズが異なり、多岐にわたります。また、計画のスパンも、ファミリーとビジネスでは大きく異なるため、複雑さはさらに高まります。そのため、ファミリービジネスシステムの全体を見た時に、税務、法務、経営管理など、一つの専門領域だけのソリューションでは、システム全体のソリューションにつながらないことが多いのがファミリービジネスの特徴でもあります。複合的な専門領域を踏まえ、個々のファミリービジネスにとって最適なソリューションを見出し、その実行を支援するため、ファミリービジネスアドバイザーには多岐にわたる領域の知識が必要になります。本プログラムは、受講者が他の分野の専門家と協働し、自身の専門領域を超えてファミリービジネスを支援するための基礎知識と方法論を提供します。

第8期カリキュラム予定（一部変更になる可能性があります。）

|  |   |
|--|---|
| <b>【キックオフ】</b><br>開校式・オリエンテーション<br>セルフチェックと学習目標の設定 | <ul style="list-style-type: none"> <li>セルフチェックリストによる自己評価</li> <li>自己の学習目標の設定</li> <li>課題図書</li> </ul>   |
| <b>【チャプターⅠ】</b><br>ファミリービジネス概論                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>なぜファミリービジネスコンサルティングなのか？<br/>FB概論/FBの経済規模と課題/FB研究/脆さと強さ/ジョンソン社の事例</li> <li>ファミリービジネスシステムとは何か<br/>ファミリービジネス理解のためのモデル（3Cモデル、3Dモデル、パラレルプランニングプロセス、エージェンシー理論、リソースベース論）</li> <li>日本のファミリービジネス論</li> </ul>  |
| <b>【チャプターⅡ】</b><br>ファミリービジネスコンサルティング               | <ul style="list-style-type: none"> <li>ミニケーススタディー</li> <li>ファミリーとビジネスのプランニング<br/>クライアントは誰か？/アクションリサーチ/ソフトスキルとハードスキル/業際のコンサルティング/コンテンツコンサルティングとプロセスコンサルティング</li> <li>契約とアセスメント<br/>Hilburt-Davis・Dyerコンサルティングモデルなど</li> <li>診断と処方<br/>ファミリーダイナミクス/ジェノグラム/コミュニケーションスキル/ファミリーガバナンス/ハード（構造的）アプローチ/ソフト（コミュニケーション）アプローチ</li> <li>ファミリーとビジネスのガバナンス（ファミリー評議会、社外取締役など）</li> <li>ファミリーへの支援～ファミリー・セラピーの視点から（ジェノグラムなど）</li> <li>ミニケーススタディー</li> </ul> |
| <b>【チャプターⅢ】</b><br>ファミリービジネス繁栄の諸課題                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ベストプラクティスの事例発表とディスカッション</li> <li>非ファミリー幹部の心得と育成</li> <li>定番商品をつくる「コンセプト・パワー」—すべてはコンセプトから始まる—</li> <li>ファミリービジネスのためのブランディング戦略</li> <li>激変するビジネス環境とファミリービジネスにおけるエンゲージメントの役割</li> <li>ファミリービジネスの自社株式の承継</li> <li>コンサルティングツール</li> <li>アドバイザーの役割と倫理<br/>ファミリービジネスアドバイザーの倫理/アドバイザーの個人的バイアス/地域性、宗教/専門家チーム/コミュニケーション/MTA</li> <li>課題図書のディスカッション</li> </ul>  |
| <b>【チャプターⅣ】</b> まとめ                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>長く繁栄するファミリービジネスの条件10か条</li> </ul>  |
| <b>【ケースペーパー作成】</b>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>実在のファミリービジネスのメンバーにインタビュー、診断と処方を報告</li> <li>機密保持のため、企業名、業種、ファミリー名は仮名で報告</li> <li>メンターによる個人別サポート</li> </ul>  |
| <b>【自己評価】</b>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムの始めに提出した学習目標に対し、どの程度学習が進んだかを自己評価</li> <li>学びをどのように生かしていくかをレポートにして提出</li> </ul>  |